

今年も「日本遊技関連事業協会

北海道支部」「札幌方面遊技事業協同組合」「札幌遊技業協同組合」「札幌遊技業支配人会」の四団体合同主催による「健全営業推進セミナー2012」が、10月4日に札幌コンベンションセンターにて開催されます。

2003年の第1回目からゴト犯罪対策セミナーの講師を担当させていただき、今年で10回目の10年目の節目を迎えます。ここまで回数を重ねてこられたのも多くの方々のご支援のおかげと深く感謝しております。



## 日遊協など4団体が北海道最大規模のセミナーやブース展示

この「健全営業推進セミナー」は、パチンコ関連企業によるブース展示とホールスタッフ向けセミナーにより構成されており、昨年は700人を超えるホール関係者が参加した北海道最大規模のパチンコ関連イベントです。今年の健全営業推進セミナーは「現場に活力を！」というテーマのもと、ポインペイ吉田氏の講演と北海道警察本部保安課の行政講話、弊社JS

Sによるゴト犯罪対策セミナーの3つのセミナーと、パチンコ関連企業によるブース展示が約40社という過去最大規模になるものと予想されております。

今回は日遊協によるブース展示も予定されており、6月に秋葉原で開催された「パチンコ&パチスロフェスタ2012」で展示された試作機がこの「健全営業推進セミナー」のブースにも展示されるとのこと。道外のホール関係者の方で「健全営業推進セミナー2012」に興味がある方は、日本遊技関連事業協会北海道支部までお問い合わせの上、是非ご来場く

ださい。

※入場はホール関係者のみで、一般ファンの入場はお断りしております。



## 「パチスロ創聖」攻撃の電磁波ゴトが発生 手口不明だが「危険」

さて、前号ではパチンコの電磁波ゴトの事例についてお伝えしましたが、この原稿を書いている8月中旬頃にSANKYO「パチスロ創聖のアクエリオン」を狙った電磁波ゴトが発生したとの情報が飛び込んできました。

「パチスロ創聖のアクエリオン」に設置していた電磁波センサーが発報したため、報告を受けた役職者が該当台に向かったところ、実行犯と思われる男が下皿にメダルを残したまま逃走していたとのこと。防犯カメラの映像で確認してみると、男は電磁波発信機を仕込んでいると思われる肩下げバッグを所持しており、当該遊技機で電磁波センサーが発報したタイミングの直後に連続演出に突入したが、男が発報に気が付いて慌てて逃走して行ったとのこと。

※逃走後の遊技台を調べたところボーナ

# ゴトに勝つ

# 14

## 高石隆一

ゴトが起きていている最中に  
対応をミスってしまつて

ス及びARTには非当選だった。

この電磁波ゴトの手口の詳細については不明ですが、電磁波を放射したタイミングが通常時であったこと、電磁波の発射直後に連続演出に突入したことから推測すると、電磁波を照射することによる効果としては、ユニバーサル系スロットを狙った電磁波ゴトで確認されている【消化したゲーム(フラグ)を無効化する】に加えて、【特定小役を引いたことにする】【モード移行をおこなう】等の効果が推測されます。

もし、電磁波照射による効果があった場合、電磁波照射の度に特定小役を引いた効果を得ることが可能になり、ARTセット数の上乘せが容易におこなえてしまうため、被害が甚大なものになる可能性があります。

## 同系筐体への影響心配 「警戒中」「連絡を」など POP掲示で威嚇を

しかも、電磁波を照射された際の遊技機の挙動に関して、音が出なくなるとかランプが消灯したま

まになるとかの不具合が発生するわけでもなく、エラーが発生して遊技が中断される又はエラー情報が蓄積される等といった機能も搭載されていないので、ゴトがおこなわれた形跡が残らないので非常に見つけづらいと思われます。

また、SANKYO及びビステイの他のART機「パチスロマクロスフロンティアはじまりの歌、銀河に響け」「夜王」等の同一筐体や類似筐体への被害の波及も懸念されます。この原稿を書いている段階では状況からの推察しか出来ませんが、非常に危険な手口のような気がします。

既に実行されているホールさんも多いこととは思いますが、まずは当該遊技機付近に「電磁波ゴト警戒中!」「不審者を発見した際にはスタッフまでご連絡ください!」といった当ゴトを警戒している旨を記載したPOPを掲示することやゴト犯を威嚇してはいかがでしょうか。

前々号にお伝えした「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」のART誘発ゴトですが、7月末から8月にかけて道内各地で被害が多発しました。犯行を行っていた

のは過去にアイムジャグラーEXで穴あけを行っていたゴトグループでした。

7月のある日の午前中、このゴトグループの4人が別々の出入口から入店してきたことをすぐにホールスタッフが気が付き、このグループの動きをチェックしていたところ、その4人は「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」のコーナーに集まりゴトを実行しようとしていました。

## ゴト師マーク成功 近隣店舗に連絡したが 経験浅いスタッフが

役職者が監視のためにこのゴトグループに近づいた際、実行役の男が筐体左下ランプカバー付近を隠す仕草をして、その後、ゴトグループはすぐに退店して行きました。早期発見だったので被害は無く済んで良かった事例ですが、このゴト状況が弊社に寄せられて、すぐに近隣店舗へゴト情報を緊急連絡して警戒するようにお願いしました。

しかし、この日の午後、ゴト情報が入っていたにも関わらず被害

に遭ってしまった店舗が出てしまったのです。店舗の役職者から各ホールスタッフにゴト事例が伝達されて警戒していたはずなのですが、キャリアが浅いホールスタッフが多く、ゴト被害に遭った可能性がある場合の対応方法がホールスタッフ全員に徹底されていなかったことが1番の原因だったと思われます。

## 枠ランプが消えたのを 打ち子に聞いてしまい 2千枚も交換された

ゴト被害発見の経緯は、「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」においてホールスタッフがメダル補給を行った際、枠ランプが消灯している不具合に気が付いたことからでした。ホールスタッフが「枠ランプの消灯の不具合」に気が付いた後に取るべきアクションは、前号でもお伝えした「ほうれんそう」を第一にお願いしているのですが、この時は違うアクションを取ってしまったのです。

「枠ランプの消灯の不具合」を発見したホールスタッフは、その遊技台を打っている人物(打ち子)に

対して「いつから枠ランプが消灯していたのですか？」と質問してしまつたのです。その質問に対して打ち子は知らない、気が付かなかったなどと答え、そして、その質問の直後に途中交換で所持していたメダル約2千枚を一旦交換した後、再度その台で遊技を続けてまた約2千枚近くのメダルを出されてしまつたのです。

※打ち子が途中交換後に再度当該台で遊技を続けたのは、一度はバレたと思つて焦つて交換したが、ホールスタッフの対応状況から店舗側に自分(打ち子)がゴトの仲間だとバレていないということを感じた結果からだと思ひます。

ホールスタッフは、その台がゴト被害に遭つたために枠ランプが消灯しているかもしれないと思つたが、当該台を打つていた人物(打ち子)はゴトグループではないと思つたから質問したようですが、質問の直後に途中交換を求めてき

た極めて怪しい状況に対してすんなりと交換に応じてしまつた！ここが今回の重要なポイントだと思ひます。

怪しいと思つたのであれば、「枠ランプが消灯している」という異常な状態を理由に、交換を一時止めるということもできたはずですし、なによりもこの怪しい状況を上司に「ほうれんそう」して指示を待たなければなりません。

### 連絡受けて調べたら 筐体左下や白い基板 リール窓右側にキズ

かなりの時間が経過してから「ほうれんそう」が行われて、防犯カメラの映像を確認したところ、4人組のゴトグループが時間差で入店し、実行犯が当該機種に着席した後、壁役2人が実行役を挟む

ように着席し、その壁役はナンバールランプを見るフリなどをして実行犯の犯行を隠している様子が映つており、犯行が終了すると実行犯はすぐに退店して、その後当該台に打ち子が座つて遊技を開始している姿が確認できた。

これらの状況からゴト被害であると断定して、店舗側は当該遊技機を打つていた人物(打ち子)に遊技中止と所持していたメダル(約2千枚)も一時預かる旨を伝えたところ、あっさりと要求に応じて退店していった。結果的に、途中交換されたメダル約2千枚という被害が出てしまいました。

閉店後、連絡を受けた弊社検査担当スタッフが遊技台を点検したところ、筐体左下ランプカバー(精算ボタン部)と内部の白い基板、さらにリール窓右側(激闘の闘の部分)からセルを挿入した際につ

けられた傷を発見しました。

### 多数の手口があり ゴト防護部品は 万全とはいえない

この店舗では、「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」全台に公安委員会から許可を受けたゴト防護部品を取り付けていて、ゴト被害に対する意識はかなり高い店舗と思われませんが、ホールスタッフはゴト防護部品をつけていることによりゴト被害に遭わないものと安心していたのかもしれない。

この防護部品は万全ではなく、初期のゴト手口なら防げていたかもしれませんが、ゴトの手口は次々と変化し進化しています。特に最近のART機のセルゴトでは、セルを挿入する場所が多岐に渡つていて、ゴトグループによってセル

写真1 北斗の拳 ゴト痕跡①

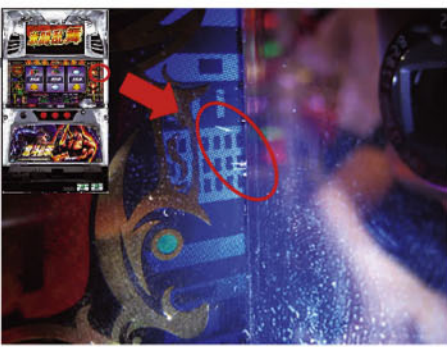


写真2 北斗の拳 ゴト痕跡②



写真3 北斗の拳 ゴト痕跡③



写真4 北斗の拳 遊技台に残されていたゴト器具



写真5 北斗の拳 ランプ正否比較



を挿入する箇所が違うケースも多く、同一グループでも多数の手口で動いている輩もいる状況なので、防護

部品を取り付けたからといって安心は出来ないことをホールスタッフ全員に分かって頂くことが重要だと思います。

## 「自店のゴト発生時」

### その対処法見直し 即実行の体制作りを

いつもお伝えしていることですが、1番大切なことは遊技客や遊技台のちよつとした不具合や違和感に気がつく感性和「ほうれんそう」の即実行です。今回のケースでも、遊技台の不具合に気がついたにもかかわらず、「ほうれんそう」の即実行がされなかったのがターニングポイントになっていました。今一度、自店のゴト発生時の対応方法を見直して、全ホールスタッフがいざという時にスムーズに行動出来るように教育研修を実施して頂きたくお願いいたします。ゴト発生時の対応方法として、まずはホールスタッフとお客様の安全確保が第一です。そして、次にゴト被害が発生しないようにすること。最悪でも、交換をさせな



写真6 山佐 セル挿入懸念箇所

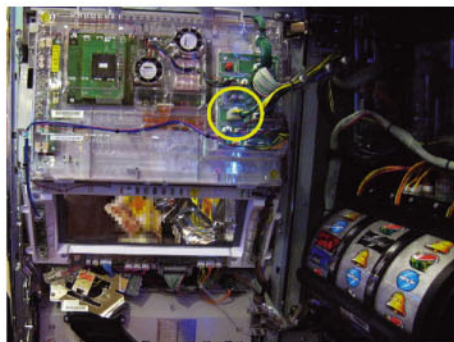


写真7 山佐 セル接触懸念箇所

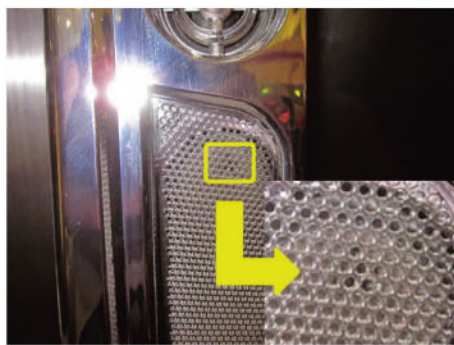


写真8 モンキーターン ゴト痕跡

いと言う実被害を出さないようにすることが二番目に大切なことだと弊社では考えております。しかし、優先順位が違うというご意見もあるのも現実です。ここに列記させていただいたことが、読者の方の何かのヒントになれば幸いです。

「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」がゴトに遭った場合の挙動に関しては、スピーカーから音が出なくなるとか音が小さくなるという異常が発生したり、枠ランプがART中・通常中ともに消灯している状況が確認されております。これらの異常はゴト被害発見の大きなきっかけとなりますが、必ずしも発生するものとは限りませんので、この点を間違えないようにご注意ください。また、これらに異常は、電源の再起動（OFF/ON）で簡単に復旧しますが、安易にホールスタッフが再起動（O

FF/ON）してしまうとゴト被害の痕跡が無くなってしまふので取り扱いに注意してください。

## 山佐のART機 すべての機種で 警戒する必要がある

最後にART機のゴト事例をもうひとつ。7月17日に山佐が全日遊連を通じて、各ホールに向けて「モンキーターン」と「天下布武2」に対する不正事案について注意喚起をおこなっておりますが、「パチスロウルトラセブン」や「パチスロ鉄拳2」「パチスロ銀河鉄道999」などでもゴト被害が相次いでいるので、同メーカーのART機すべての機種を警戒するように注意してください。

手口としては、「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」等で発生

しているセルゴト同様、サブ基板と同一経路上で電源を確保している基板や配線・コネクタをショートさせることでサブ基板に影響を与え、消化したゲーム情報を無効化する手口であることが判明いたしました。また、別の手口として、メイン基板とサブ基板を繋ぐサブハーネスに不正な信号を送信することにより、強制的にARTが発動されるといふものもあります。

セルを挿入する箇所として、液晶左横のスピーカー部が狙われています。網目状のスピーカーカバーのひとつの穴が広がっていたり、黒ずんでいたりする事例が報告されておりますが、非常にわかりにくく見逃してしまうケースも多くあるとのことなので、スピーカー部のチェックを行う際には、表だけでなく裏側からもチェックしてください。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち  
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかたわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。